

<学校教育分野>

■ ■ 1 現状と課題 ■ ■

- 本市では、令和元年に策定した「米沢市教育等に関する施策の大綱」において、「教育の米沢品質」を共に創り上げ、持続可能な社会に貢献できる人づくり」を基本理念と定め、新たな時代にマッチし思いやりを持った「がってしない子ども」の育成を目指しています。
- 学校教育については、学校の小規模化や子ども同士の関わりの希薄化等が問題となっているほか、不登校、不適応、問題行動等の課題を抱えた児童生徒が増加していることから、関係団体と連携・協力し、児童生徒及び各家庭への支援や適切なケアを行う必要があります。また「米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画」に基づき、適正な児童・生徒数や学級数を確保するための取組を推進するとともに、子どもたちが安心して学習できるように、教育環境の整備が求められています。
- 基礎学力を高めるとともに、読解力や表現力、豊かな感性の育成が求められていることから、ICTを活用した教育を推進したり、家庭学習の充実や読書習慣の確立を図ったりしていく必要があります。そのためにも、新学習指導要領に沿った自ら学び、考え、判断して行動し、より良い社会や人生を切り開いていく力を育めるよう教育内容を充実させる必要があります。
- 価値観の多様化が進み、社会環境が大きく変化する中、子どもたちの健全育成を図るためには、家庭、学校、地域が密に連携した地域教育体制を構築し、家庭教育の支援や、公德心・規範意識等の醸成を図る必要があります。

■ ■ 2 基本施策 ■ ■

これからの時代を生き抜く力を持つ子どもの育成

教育体制づくりを推進するとともに、子どもたちが社会を生き抜く力と豊かな心を育むことができるよう、学校教育と社会教育の連携・充実を図ります。さらに、時代の変化に柔軟に対応した教育の充実を図り、教育環境の整備や地域に開かれた学校づくりに努めます。

(1) 自ら学び考え行動できる力を育む学校教育の充実

- 学校と家庭での学習に関連性を持たせ、学んだことを日常生活に結びつけながら理解・活用できる子どもの育成を目指します。また、土台となる基礎学力を活かして生涯にわたって自ら学び続ける児童生徒の育成を目指します。
- より良く生きるための基盤となる道徳性を養い、豊かな人間形成と人間関係づくりの教育を充実させます。また、不登校やいじめ等の未然防止や早期対応に努めるとともに、特別な支援を必要とする子どもや学校不適應の子どもへの継続的かつ組織的なきめ細かい支援を推進します。
- 自立心を育み、社会への積極的な参画のために、キャリア教育の推進や自分の思いや考えを伝えるコミュニケーション力・発信力の育成を図ります。
- ICTを活用した学習や学校教育の情報化の推進、読書活動の推進、外国語教育、理数教育、道徳教育の充実を図ります。また、健康の保持増進や体力向上に努めることにより、知徳体のバランスの取れた児童生徒の育成を目指します。
- 「あそび」を中心に、様々な好奇心を引き出しながら個性を育て、集団の中で視野を広げることで、生き抜く力の基礎となる幼児教育を推進します。

(2) 学びを支える教育環境の充実

- 子どもたちの豊かで確かな学びを実現するために、「米沢市立学校適正規模・適正配置等基本計画」に基づき、小中学校の再編を推進します。
- 学校施設長寿命化計画等に基づき、施設の老朽化に伴う改修を進め、子どもたちが過ごしやすい安全・安心な環境づくりを推進します。
- 学校給食の安全性確保及び食の教育（地産地消の推進等）の充実を図り、効果的かつ効率的な学校給食実施体制の構築を推進します。
- 教員が働きやすい環境の中で、子どもたちの豊かな学びを支えるため、学校における校務や学習でのICT環境の整備と活用、学校図書館等の充実を推

進めます。

(3) 連携を活かした教育の充実

- 安全教育の充実を図るとともに、子どもたちが安全・安心に過ごすことができるよう、地域や関係機関との連携を推進します。
- 学校・地域が連携を図り、地域人材の活用や地域行事への参加、伝統文化の継承等、地域との関わりを創出し、郷土愛を醸成するなど、地域と一体となった学校づくりを推進します。
- 図書館や博物館との連携を重視した学校教育を推進し、自ら調べ、考察し、人に伝える等、学ぶ力の育成を目指します。
- 幼保小中が連携して、学校間の円滑な接続と適切な指導に努め、自己肯定感や自尊感情を育みます。また、高等学校や大学等の高等教育機関と連携を図り、自分らしい生き方を実現させるための力を育成します。